

自然科学部研究紹介

■ 研究紹介

「クロボシセセリを追って～分布の北上について～」

自然科学部は 2024 年度もさまざまな研究を行い、多くの賞を受賞。その中でも特に注目されたのが、第 5 回高校生探究コンテストで優秀賞を受賞した「クロボシセセリの北上」に関する研究です。

○ 研究内容

- ・クロボシセセリの北上要因とそのルートの特定
- ・200 ページの文献を 170 冊以上調査し、分布データを整理
- ・県内 120 か所で現地調査を実施（離島含む）
- ・北上の要因として気温変化を仮説に設定し、個体の大きさと気温の関係を分析
- ・大学と協力し、DNA 解析による起源の特定を試みる

■ クロボシセセリとは？

- ・学名: *Suastus gremius*
- ・食草: ヤシ科植物
- ・生態: 幼虫はヤシ科植物の葉で巣を作る
- ・生息地: 東南アジア
(国内初確認: 1973 年 石垣島)



クロボシセセリ



ヤシ科植物



フィールドワークの様子

インタビュー

Q 研究のきっかけは何ですか？

昆虫採集をしていた部員の一人が「クロボシセセリの分布が北上しているのでは？」と気づいたことが発端です。実際に鹿児島でも確認され、調査が始まりました。

Q 研究の工夫と苦労は？

- ・大量の文献から関連情報を抜き出すのが困難
- ・現地調査で昆虫を見つけることが難しかった
- ・発表スライドでは、文字サイズや図表の工夫を行い、視認性を向上

Q 今後はどのような研究をしていきますか？

- ・実際の気温データと比較し、詳細な分析を行う
- ・クロボシセセリの食草をより詳しく調べる
- ・より詳細な遺伝子解析を試み、分布変化を深掘りする

課題研究についてのアドバイス

SSH の探究活動では、研究テーマに悩むこともあるかもしれませんが、日常の疑問から研究を始めることが大切です！



現地調査や膨大な文献調査を通じて、素晴らしい研究が成り立っていることを実感しました。SSH の探究活動に活かせる点が多く、今後の研究の参考にしたいと思います。取材へのご協力、ありがとうございました。

自然科学部の紹介

甲南高校の自然科学部は、1 年生 3 人、2 年生 8 人の計 11 人で活動しています。週 5 日を基本に、それぞれの研究テーマに取り組み、大会での発表や文化祭ステージ発表、小中学生向けイベントを実施しています。



研究に興味を持ってくれた人はこちらに詳しい内容があります。



文化祭での実験発表

